

ジャパングラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

10月度理事会議事録

盛会だった「B.B.Q. ピクニック」の報告 全会員名簿の配布・講習会、講演会、餅つき新年会等について話し合う

ジャパングラブ 10月度理事会は10月7日(水曜)6:30より、日米会館会議室において8名の理事が出席して行なわれました。

1) 秋の恒例ピクニック(報告) 感想文、写真等関連記事があります

さる9月19日(土曜日)に開かれたピクニックは会員・ゲストを合わせ30名の参加のもと、楽しく、美味しく行なわれました。その朝サンフランシスコはまだ霧の中、肌寒くゴールデン・ゲートを渡る迄は心配でしたが着いてみると素晴らしい天気、それだけでピクニックの気分は既に上々。

北理事の音頭で数々のゲームを楽しみ、たいへん盛会でした、お手伝いいただいた方々、ドナーションをしてくださった方々、有難うございました。さらに来年度のピクニックについて北理事から別な候補地(サンマテオのコヨーテポイント)下見の報告が有り、この場所に付いてさらに調べて決める事になりました。

2) 米国赤十字社に於ける「講習会」

先月の理事会で決まった「講習会」参加は、まず緊急連絡網の地域担当者及びその補助者を対象にさらに米国赤十字社の担当者で打ち合わせ。その後、全会員を対象に赤十字社から担当者を招いて講演会・講習会を開催を企画する。

3) 全会員名簿の配布について

先の理事会(9月度)で基本承認された全会員名簿を配布(今迄は緊急連絡網の各地域毎にその地域の会員のみリストを配布しておりました)する件について、記載内容は **氏名・住所・電話番号(自宅、会社、携帯)・メールアドレスと出身地**とする事に決まりました。

ただし、上記の内容のうちで**記載を望まない事項が有りましたら10月31日迄に必ず事務局迄ご連絡ください。**

なおこれに伴い、一定の条件の下で会員の中でビジネスをしている人がこの名簿を利用する事が可能か否かについて意見がでました、この件につきましては非常にデリケートな問題でこれから議論を重ねていく必要が有ります。会員の皆様のご意見も是非お寄せください11月の理事会でも取り上げます。

4) 餅つき新年会

来年1月31日(日)北加日本文化コミュニティーセンターでの開催が決まっている餅つき新年会について内容、エンターテイメント(交渉を柏原理事をお願いする)について話し合う。お手伝いして下さる方の負担を出来るだけ軽く、分散し全員が新年会を一緒に楽しめるようにする為に次回さらに内容等に付いて話し合います、皆様の意見もお寄せください。

次回理事会は、2009年11月4日(水)に日米会館階会議室に於いて6:30より開催されます。10月1日現在会員数は64名です。

2009年度 ピクニック会計報告

参加者 29名 (内招待者 1名)

収入	\$ 420.00
支出	
諸材料費	\$ 398.68
会場費	\$ 175.00
支出合計	\$ 573.68
計	△ \$ 153.68

風邪の季節になりました、今年はさらに SWINE FLU の流行が懸念されています、ワクチンの準備が間に合わず優先順位があり我々が受けられる迄まだ暫くかかりそうです。

外出から帰った時は、少なくともうがいと手洗いには心がけましょう。

ジャパングラブ 秋のピクニックを終えて

大事な週末を秋のピクニックに参加していただき有り難うございました。これもジャパングラブの大切な年中行事です。

ピクニックでは童心に還り、色々なゲームに参加してワイワイするのが、美味しいBBQと共に楽しみの一つです。

その結果、勝者には金のトロフィーならぬプラスチック・バスケットや本が贈られました、これも限られた予算の中で係が知恵を絞ったものです、どうぞその気持ちをお汲み取りください。

さらに賞品に本をいただいた方はお読みになった後大事に残しておいて来年のグラージセールに改めてご寄付いただければ幸いです。

クラブの更なる発展の為には皆様のご協力が必要です、今後共これらの催しにどんどんご参加ください。

ピクニック担当 北 哲也理事
係り員 一同



ピクニック参加者全員で記念写真

写真提供: 大隅敏男理事

ジャパクラブ秋のピクニック (参加会員から寄せられた感想文)

9月19日(土)午前10時30分から San Rafael McNear Beachで
ジャパクラブ秋のピクニックが開催されました。

素晴らしい天気恵まれ、バーベキューの美味しそうな香りがそよ風と共に私たちを包んでくれました。参加者は30人で男女それぞれ約半分ずつでした。

私は家内のメアリーと一緒に参加した新会員ですが皆様のお陰で違和感無く交流する事が出来、楽しく過ごさせて頂きました。北さんのリーダーで進められた面白いゲームが沢山企画され、食前のゲームを笑いながら楽しみ、そして美味しいバーベキュー、又、皆さんからの差し入れでお稲荷さん、すし、焼きおにぎり、スイカ、葡萄等等、お腹一杯頂きました。

その後、サッカー、ゴルフ、綱引きゲーム等など、笑いとジョークで午後3時半ごろまで楽しく過ごしました。何と、楽しく過ごしている時は時間が経つのが早いものです。

まだ、参加されたことの無い方には、ぜひ、お勧めです！気軽に皆さんとお話が出来、相互扶助と親睦を目的と言われましたが成るほどと思いました。

これを企画された理事の方がた、また、美味しい食事を持って来て頂いた方がたに感謝します。来年も是非参加させて頂きたいと思います。企画、実行された方がた、ご苦労様でした。

赤川 稔



左: 風船運びのルールを緊張しながら聞く参加者

下: かなり真剣に風船を運ぶ二人、結果は?



左: 「紙飛行機飛ばし」銘々自分の作った紙飛行機を飛ばし距離を競う、こんな事したのは何十年ぶりの事でしょうか...

右: 恒例バン食いならぬソーセージ食い競争

下: 本当に楽しそうでした、でも来年はまたバンに戻しましょうか?



ピクニックの想いで

写真提供: 大隅敏男理事・古田紘一理事

赤十字社 — 日米間の役割の違い — 米国赤十字社より寄稿

日本とアメリカでは、赤十字社の役割が異なっていることを知っていますか? 日本では病院、または医療に関連する役割を果たしているのに対し、アメリカでは民家の火災から大災害までをサポートする災害支援の役割を担っています。赤十字社は世界共通の人道、公平、中立、独立、奉仕、単一、世界性という7つの基本原則をもとに、全国各地域でその地に適した異なった災害支援活動を行っています。

一般的にアメリカに長く住む日本人の方も、赤十字社を病院と連想される方が多く、本来のアメリカ赤十字社の役割を理解されていないという事実があります。そこで今日は、アメリカ赤十字社の活動内容についてご紹介し、これから起こりうる地震に備え、Japan Clubのみなさんと協力していけたらと思います。

アメリカ赤十字社では災害支援を軸として活動しています。ハリケーン、洪水、地震、火災、その他被災者の救済が必要な災害に対応しています。州を越えて活動するボランティアは、民家の火災から大規模災害、あるいはテロ行為や大量破壊兵器のような新しい災害に及ぶあらゆるケースの災害に対応できるようにトレーニングを受けています。また平時の災害予防や対策にも力を注いでおり、多岐にわたるトレーニングの実施などを通して緊急時の訓練をし、備えを万全にし、災害時に被害を最小限に抑えることを目標としています。

皆さんもご存知の通り、サンフランシスコでは今後30年以内に大地震が起こることが予測されており、ここアメリカ赤十字社ベイエリア支部でも地震対策に取り組んでいます。地震対策のプログラムでは1. Make a Plan...計画を立てる、2. Get a kit...防災グッズを用意する、3. Be Informed...事前に知識を身に付ける、という3つのスローガンを掲げています。3. Be Informedを具体的に説明すると、心肺蘇生法(CPR)、AED(Automated External Defibrillator)の使用法、応急処置などのトレーニングを無料で実施しています。また地震対策の指導者のためのトレーニングも行っています。(詳細につきましては HYPERLINK "<http://www.preparebayarea.org>" www.preparebayarea.orgをご参照ください。)

来る地震に備えるために、皆さんと赤十字社ベイエリア支部との連携は必要不可欠だと確信しています。少しでも多くの人に地震対策を促せるよう、ぜひこれから協力して活動できたら、と考えています。



CG(コンピューター・グラフィックス)により合成されたイメージ写真です